

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公表番号】特表2008-542819(P2008-542819A)

【公表日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-513382(P2008-513382)

【国際特許分類】

G 10 L 19/00 (2006.01)

【F I】

G 10 L 19/00 213

G 10 L 19/00 330B

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月24日(2008.9.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

オーディオ信号にフレーム単位で付加情報が埋め込まれ、該フレームの長さがフレーム毎に定義される場合、または、オーディオ信号にフレーム単位で付加情報がアタッチされた場合のいずれかの場合に、前記付加情報を読み出す段階と、

前記読み出された付加情報を用いて前記オーディオ信号をデコーディングする段階と、を含むことを特徴とする、オーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項2】

前記フレームから、前記フレームの開始及び前記付加情報に対する復号化フレームの開始が一致するか否かを表す識別情報を読み出す段階をさらに含むことを特徴とする、請求項1に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項3】

前記フレームから、前記付加情報に対する復号化フレームヘッダが存在するか否かを表す識別情報を読み出す段階をさらに含むことを特徴とする、請求項1に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項4】

前記復号化フレームヘッダ内に前記付加情報が適用されるオーディオ信号の位置情報が存在しているか否かに対する識別情報を読み出す段階をさらに含むことを特徴とする、請求項3に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項5】

前記識別情報によって前記オーディオ信号の位置情報を読み出す段階をさらに含むことを特徴とする、請求項4に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項6】

前記フレーム長は正の整数であり、前記付加情報の復号化フレームを正の整数であるNで除算または乗算して獲得されることを特徴とする、請求項1に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項7】

前記フレーム長は、固定された長さに該当することを特徴とする、請求項1に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項 8】

前記オーディオ信号が第1のオーディオ信号である場合、前記付加情報が前記オーディオ信号に埋め込まれることを特徴とする、請求項1に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項 9】

前記オーディオ信号が第2のオーディオ信号である場合、前記付加情報が前記オーディオ信号にアタッチされることを特徴とする、請求項1に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項 10】

前記オーディオ信号は、マルチチャネル信号に対するダウンミックス信号を含むことを特徴とする、請求項1に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項 11】

前記付加情報は、マルチチャネル信号に対する空間情報を含むことを特徴とする、請求項1に記載のオーディオ信号のデコーディング方法。

【請求項 12】

オーディオ信号にフレーム毎に定義されたフレーム長で付加情報が埋め込まれた場合及びオーディオ信号にフレーム毎に付加情報がアタッチされた場合のいずれかの場合に、前記付加情報を抽出する付加情報抽出部と、

前記付加情報を用いて前記オーディオ信号をデコーディングするマルチチャネル生成部と、

を含むことを特徴とするオーディオ信号のデコーディング装置。

【請求項 13】

前記抽出された付加情報は、前記フレーム内に前記フレームの開始及び前記付加情報に対する復号化フレームの開始の一一致の有無を表す識別情報をさらに含むことを特徴とする、請求項12に記載のオーディオ信号のデコーディング装置。

【請求項 14】

前記抽出された付加情報は、前記フレーム内に前記付加情報に対する復号化フレームヘッダが存在するか否かに関する識別情報をさらに含むことを特徴とする、請求項12に記載のオーディオ信号のデコーディング装置。

【請求項 15】

前記フレーム長は正の整数であり、前記付加情報の復号化フレームを、正の整数であるNで除算または乗算することによって獲得されることを特徴とする、請求項12に記載のオーディオ信号のデコーディング装置。

【請求項 16】

前記オーディオ信号が第1オーディオ信号である場合、前記付加情報は前記オーディオ信号に埋め込まれたことを特徴とする、請求項12に記載のオーディオ信号のデコーディング装置。

【請求項 17】

オーディオ信号及び前記オーディオ信号をデコーディングするために必要な付加情報を生成する段階と、

前記オーディオ信号にフレーム単位で前記付加情報を埋め込み、ここで、前記フレーム長はフレーム毎に定義される過程及び前記オーディオ信号にフレーム単位で前記付加情報をアタッチする過程のいずれかの過程を行う段階と、

を含むことを特徴とするオーディオ信号のエンコーディング方法。

【請求項 18】

オーディオ信号を生成するオーディオ信号生成部と、

前記オーディオ信号をデコーディングするために必要な付加情報を生成する付加情報生成部と、

前記付加情報を前記オーディオ信号にフレーム毎に定義されたフレーム長で埋め込む過程及び前記オーディオ信号にフレーム毎に前記付加情報をアタッチする過程のいずれかの

過程を行う付加情報結合部と、
を含むことを特徴とするオーディオ信号のエンコーディング装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】オーディオ信号の符号化／復号化方法及び符号化／復号化装置